

2022年度第2四半期 決算補足説明資料

－ 2022年11月4日 －

京王電鉄株式会社

I . 2022年度第2四半期実績

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）
8. 営業外・特別損益
9. 連結貸借対照表
10. 連結キャッシュ・フロー計算書

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2022年度第2四半期の業績				
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減 (増減率)	2022年度 第2四半期 当初計画 (2022.5.2公表ベース)	計画差異 (差異率)
営業収益	1,378	1,588	209 (15.2)	1,643	△ 55 (△ 3.4)
営業利益	△ 13	94	107 (—)	87	6 (7.8)
経常利益	8	95	87 (—)	77	18 (23.8)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 10	42	53 (—)	17	24 (141.1)
EBITDA	143	236	93 (65.1)	232	3 (1.5)
減価償却費	154	142	△ 12 (△ 7.9)	145	△ 3 (△ 2.2)
資本的支出	191	177	△ 14 (△ 7.4)	—	— (—)

※EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

2. セグメント別の概況（対前年）

- 営業収益はすべてのセグメントで増収
- 営業利益はその他業を除く各セグメントで改善

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
運 輸 業	478	546	67（14.1）	△7	46	53（—）
流 通 業	463	480	17（3.8）	3	10	7（244.1）
不 動 産 業	215	222	6（3.1）	56	57	0（1.3）
レジャー・サービス業	129	216	86（66.5）	△79	△31	47（—）
そ の 他 業	249	253	4（1.7）	14	11	△3（△22.9）
連 結 修 正	△157	△130	27（—）	△1	△0	1（—）
連 結	1,378	1,588	209（15.2）	△13	94	107（—）

2. セグメント別の概況（対計画）

- 営業収益は、運輸業を除く各セグメントで目標未達
- 営業利益は、流通業とその他業を除く各セグメントで目標を達成

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2022年度 第2四半期 当初計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	2022年度 第2四半期 実績	計画差異（差異率）	2022年度 第2四半期 当初計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	2022年度 第2四半期 実績	計画差異（差異率）
運 輸 業	535	546	10（ 2.0）	40	46	5（ 13.1）
流 通 業	496	480	△ 15（ △ 3.1）	17	10	△ 6（ △ 39.0）
不 動 産 業	232	222	△ 9（ △ 4.0）	52	57	4（ 9.3）
レジャー・サービス業	251	216	△ 35（ △ 14.1）	△ 37	△ 31	5（ —）
そ の 他 業	286	253	△ 32（ △ 11.5）	13	11	△ 2（ △ 17.7）
連 結 修 正	△ 157	△ 130	26（ —）	△ 0	△ 0	0（ —）
連 結	1,643	1,588	△ 55（ △ 3.4）	87	94	6（ 7.8）

2. セグメント別の概況（四半期別）

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2022年度 第1四半期実績 (4~6月)	2022年度 第2四半期実績 (7~9月)	2022年度 第2四半期累計 (4~9月)	2022年度 第1四半期実績 (4~6月)	2022年度 第2四半期実績 (7~9月)	2022年度 第2四半期累計 (4~9月)
運 輸 業	275	270	546	23	22	46
流 通 業	239	241	480	7	2	10
不 動 産 業	120	102	222	30	27	57
レジャー・サービス業	104	111	216	△15	△15	△31
そ の 他 業	120	133	253	4	6	11
連 結 修 正	△63	△67	△130	0	△0	△0
連 結	797	791	1,588	51	42	94

3. セグメント情報（運輸業）

- 鉄道事業では、コロナ禍以前に比べて輸送人員が減少しているものの、前年同期と比べて回復基調
- バス事業およびタクシー業においても増収

(単位：億円、%)

	2022年度第2四半期の業績		
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	478	546	67 (14.1)
（鉄道事業）	309	349	39 (12.7)
（バス事業）	140	157	17 (12.4)
（タクシー業）	44	54	9 (21.1)
（その他）	11	11	0 (3.6)
（消去）	△27	△26	0 (—)
営業利益	△7	46	53 (—)
（鉄道事業）	4	41	37 (872.5)
（バス事業）	△8	2	11 (—)
E B I T D A	84	126	41 (49.9)
減価償却費	91	80	△11 (△12.3)
資本的支出	107	56	△51 (△47.7)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2022年度第2四半期の業績		
		2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	145,581	156,780	11,199 (7.7)
	(通 勤)	112,860	115,016	2,156 (1.9)
	(通 学)	32,721	41,764	9,043 (27.6)
	定 期 外	100,264	118,808	18,544 (18.5)
	合 計	245,845	275,588	29,743 (12.1)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	12,683	13,260	576 (4.5)
	(通 勤)	11,475	11,712	236 (2.1)
	(通 学)	1,208	1,548	340 (28.2)
	定 期 外	16,480	19,718	3,238 (19.6)
	合 計	29,164	32,979	3,815 (13.1)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員合計 対2018年度同月比の推移



2022年度 鉄道輸送人員（対2018年度比）

(単位：%)

(参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	2Q累計 対前年比
定期計	△26.9	△22.5	△22.4	△23.9	△20.1	△23.8	△27.6	△23.9	7.7
通勤	△26.3	△26.8	△26.3	△26.5	△24.4	△25.7	△26.3	△26.0	1.9
通学	△28.6	△10.0	△11.4	△16.6	△6.5	△15.9	△31.2	△17.4	27.6
定期外	△13.5	△11.7	△9.8	△11.7	△12.4	△18.6	△13.4	△13.3	18.5
合計	△21.5	△18.2	△17.5	△19.1	△17.1	△21.6	△22.0	△19.6	12.1

4. セグメント情報（流通業）

- 百貨店業では、営業時間短縮や一部店舗における休業を実施した前年同期に比べて改善し、増収
- ショッピングセンター事業では、本年3月に開業した「ミカン下北」が寄与したことなどにより増収
- 一方、ストア業では、巣ごもり需要が前年同期と比べて減少したことなどにより減収

(単位：億円、%)

	2022年度第2四半期の業績		
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	463	480	17 (3.8)
（百貨店業）	116	131	15 (12.9)
（ストア業）	237	235	△1 (△0.5)
（書籍販売業）	26	22	△3 (△15.0)
（ショッピングセンター事業）	68	73	5 (7.5)
（その他）	42	46	3 (8.3)
（消去）	△27	△29	△1 (—)
営業利益	3	10	7 (244.1)
（百貨店業）	△24	△12	11 (—)
（ストア業）	8	6	△1 (△20.8)
E B I T D A	20	27	7 (35.6)
減価償却費	17	17	△0 (△1.0)
資本的支出	6	38	32 (510.8)

4. セグメント情報（流通業）

百貨店業 新宿店売上高 対2018年度同月比の推移（2021年度以降は「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算）



ストア業 売上高 対2018年度同月比の推移

（2021年度以降は「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算）



5. セグメント情報（不動産業）

- 不動産賃貸業では、既存物件の稼働率向上などにより増収
- 不動産販売業では、投資用マンションの売上増などにより増収

(単位：億円、%)

	2022年度第2四半期の業績		
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	215	222	6（3.1）
（不動産賃貸業）	185	187	2（1.4）
（不動産販売業）	68	71	3（4.5）
（その他）	12	14	2（21.2）
（消去）	△49	△51	△1（—）
営業利益	56	57	0（1.3）
（不動産賃貸業）	54	53	△0（△0.9）
（不動産販売業）	6	6	△0（△0.3）
E B I T D A	82	81	△1（△1.6）
減価償却費	23	23	△0（△0.2）
資本的支出	35	53	18（51.1）

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

■ホテル業では、コロナ禍以前に比べて宿泊需要が減少しているものの、前年同期と比べて稼働率が回復し増収

（単位：億円、%）

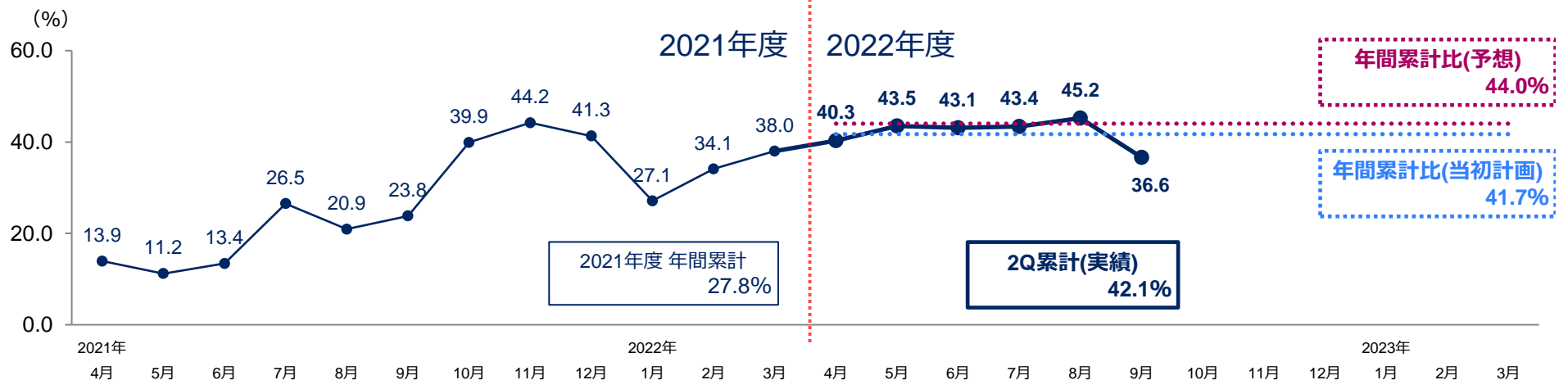
	2022年度第2四半期の業績		
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	129	216	86（66.5）
（ホテル業）	115	164	49（42.7）
（旅行業）	14	37	23（160.5）
（広告代理業）	24	30	6（26.2）
（その他）	23	28	5（22.3）
（消去）	△48	△45	2（—）
営業利益	△79	△31	47（—）
（ホテル業）	△65	△25	40（—）
E B I T D A	△57	△10	46（—）
減価償却費	21	20	△0（△3.4）
資本的支出	16	8	△7（△45.8）

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 売上高 対2018年度同月比の推移



ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 客室稼働率の推移



7. セグメント情報（その他業）

- 建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収
- 車両整備業では、受注減などにより減収

(単位：億円、%)

	2022年度第2四半期の業績		
	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	249	253	4（1.7）
（ビル総合管理業）	106	109	2（2.4）
（車両整備業）	33	27	△5（△17.4）
（建築・土木業）	72	79	6（8.5）
（その他）	42	45	2（6.1）
（消去）	△7	△8	△1（—）
営業利益	14	11	△3（△22.9）
E B I T D A	16	13	△3（△20.3）
減価償却費	2	2	△0（△4.5）
資本的支出	2	1	△0（△32.7）

8. 営業外・特別損益

(単位：億円)

	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	増減	増減要因
営業収益	1,378	1,588	209	
営業利益	△13	94	107	
営業外収益	38	18	△20	助成金等収入△20億円
営業外費用	17	16	△0	
経常利益	8	95	87	
特別利益	26	6	△19	固定資産売却益△20億円
特別損失	4	9	5	
法人税等	41	50	8	グループ通算制度導入による繰延税金資産の取崩し等
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△10	42	53	

9. 連結貸借対照表

(単位：億円)

		2021年度 実績	2022年度 第2四半期 実績	増 減	増減要因
	流 動 資 産	1,570	1,568	△2	
	固 定 資 産	7,491	7,454	△36	繰延税金資産△27億円（グループ通算制度導入による取崩し等）
総 資 産		9,062	9,022	△ 39	
	流 動 負 債	2,332	2,053	△278	未払金の減など
	固 定 負 債	3,306	3,536	229	社債の発行+200億円
負 債		5,639	5,589	△ 49	
純 資 産		3,422	3,432	10	利益剰余金+18億円（四半期純利益の計上等）
負債及び純資産		9,062	9,022	△ 39	

有利子負債	3,757	3,853	96
自己資本比率	37.8%	38.1%	0.3P

(注) 有利子負債は、借入金+コマーシャル・ペーパー+社債により算出している。

10. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2021年度 第2四半期 実績	2022年度 第2四半期 実績	増 減	備 考
営 業 活 動 キャッシュ・フロー	164	165	0	税金等調整前四半期純利益 + 92億円 減価償却費 + 142億円
投 資 活 動 キャッシュ・フロー	△152	△226	△74	有形及び無形固定資産の取得による支出△285億円
フリーキャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	12	△61	△73	
財 務 活 動 キャッシュ・フロー	△4	66	70	社債の発行による収入 + 198億円
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	775	678	△96	

Ⅱ. 2022年度通期の業績予想

1. 連結業績予想
2. セグメント別業績予想
3. 鉄道事業運輸成績

1. 連結業績予想

- 第2四半期の業績を踏まえ、営業収益の業績予想は見直し（3,460億円→3,396億円）
- セグメントごとの増減はあるものの、営業利益以下の各段階利益の業績予想は据え置き

(単位：億円、%)

	2022年度通期の業績予想				
	2021年度 実績	2022年度 予想	前年増減（増減率）	2022年度 当初計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	計画差異（差異率）
営業収益	2,998	3,396	397（13.2）	3,460	△64（△1.8）
営業利益	7	149	141（—）	149	—（—）
経常利益	53	135	81（151.5）	135	—（—）
親会社株主に帰属する当期純利益	55	64	8（14.6）	64	—（—）
E B I T D A	322	444	122（37.9）	449	△5（△1.2）
減価償却費	311	295	△16（△5.3）	300	△5（△1.8）
資本的支出	338	698	360（106.7）	698	—（—）

1. 連結業績予想（下期予想）

(単位：億円)

	2022年度 上期実績 (4~9月)	2022年度 下期予想 (10~3月)	2022年度 通期予想 (4~3月)
営業収益	1,588	1,807	3,396
営業利益	94	54	149
経常利益	95	39	135
親会社株主に帰属 する当期純利益	42	21	64
E B I T D A	236	207	444
減価償却費	142	152	295

2. セグメント別業績予想

■ 不動産業および運輸業を除く各セグメントにおいて対当初計画で減収を見込む

(単位：億円、%)

		2022年度通期の業績予想				
		2021年度 実績	2022年度 予想	前年増減 (増減率)	2022年度 当初計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)
運 輸 業	営業収益	992	1,106	113 (11.5)	1,092	14 (1.3)
	営業利益	△ 26	40	67 (—)	35	5 (14.7)
流 通 業	営業収益	969	1,009	39 (4.1)	1,045	△ 36 (△ 3.5)
	営業利益	20	28	8 (42.4)	42	△ 13 (△ 32.4)
不 動 産 業	営業収益	472	534	62 (13.2)	495	39 (7.9)
	営業利益	104	104	△ 0 (△ 0.2)	95	8 (9.1)
レジャー・サービス業	営業収益	329	486	156 (47.4)	540	△ 54 (△ 10.1)
	営業利益	△ 134	△ 59	75 (—)	△ 59	— (—)
そ の 他 業	営業収益	625	630	5 (0.8)	641	△ 11 (△ 1.7)
	営業利益	51	44	△ 7 (△ 14.0)	44	— (—)
連 結	営業収益	2,998	3,396	397 (13.2)	3,460	△ 64 (△ 1.8)
	営業利益	7	149	141 (—)	149	— (—)

2. セグメント別業績予想（下期予想）

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2022年度 上期実績 (4~9月)	2022年度 下期予想 (10~3月)	2022年度 通期予想 (4~3月)	2022年度 上期実績 (4~9月)	2022年度 下期予想 (10~3月)	2022年度 通期予想 (4~3月)
運 輸 業	546	560	1,106	46	△5	40
流 通 業	480	528	1,009	10	18	28
不 動 産 業	222	311	534	57	46	104
レジャー・サービス業	216	270	486	△31	△27	△59
そ の 他 業	253	377	630	11	32	44
連 結 修 正	△130	△239	△370	△0	△10	△10
連 結	1,588	1,807	3,396	94	54	149

3. 鉄道事業運輸成績

鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

(参考)

		2022年度通期の業績予想					2018年度実績 (増減率)	
		2021年度実績	2022年度予想	前年増減 (増減率)	2022年度当初計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)		
輸 送 人 員	定 期	287,659	314,012	26,353 (9.2)	306,142	7,870 (2.6)	402,729 (△ 22.0)	
	(通 勤)	223,662	229,895	6,233 (2.8)	230,117	△ 222 (△ 0.1)	309,170 (△ 25.6)	
	(通 学)	63,997	84,117	20,120 (31.4)	76,025	8,092 (10.6)	93,559 (△ 10.1)	
	定 期 外	213,565	245,174	31,609 (14.8)	238,897	6,277 (2.6)	275,259 (△ 10.9)	
	合 計	501,224	559,186	57,962 (11.6)	545,039	14,147 (2.6)	677,988 (△ 17.5)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	25,195	26,664	1,468 (5.8)	25,929	734 (2.8)	35,852 (△ 25.6)	
	(通 勤)	22,827	23,529	702 (3.1)	23,138	390 (1.7)	32,264 (△ 27.1)	
	(通 学)	2,368	3,134	766 (32.4)	2,791	343 (12.3)	3,587 (△ 12.6)	
	定 期 外	35,260	40,713	5,452 (15.5)	39,726	987 (2.5)	46,407 (△ 12.3)	
	合 計	60,456	67,377	6,921 (11.4)	65,656	1,721 (2.6)	82,259 (△ 18.1)	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。